Outlook2013

 $\left(\boldsymbol{\leftarrow} \right)$

情報

開く/エクスポート

電子メール アカウントの迫加

はい(Y)

アカウントの追加

電子メール アカウントに接続するように Outlook を設定しますか?



➡ アカウントの追加

Outlook を使って、所属している相様の Microsoft Exchange Server や、Microsoft Office 365 に含まれる Exchange Online のアカウントな どの電子メール アカウントに接続します。POP、IMAP、Exchange ActiveSync のアカウントにも接続できます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

1. Outlook2013 を起動します。

「Outlook 2013 へようこそ」の画面が表示されたら [次 へ]をクリックします。

※「Outlook 2013 へようこそ」の画面が表示されなかった場合は、メニューバーの[ファイル]タブをクリック

し、手順4へ進みます。



- アカウント情報
 2. [情報]をクリックし、[アカウントの追加]をクリックし、

 @bc12345@nifty.com
 クします。
 - 「電子メールアカウントの追加」の画面が表示されます。
 [はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

- 「自動アカウント セットアップ」の画面が表示されます。
 一番下の[自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。
 - 「サービスの選択」の画面が表示されたら、[POP または IMAP]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 50 -

6. 「POP と IMAP のアカウント設定」の画面が表示されたら、各項目を正しく入力します。 入力が完了したら [詳細設定]をクリックします。

ユーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y): 電子メール アドレス(E):	電算 太郎 dentaro@alato.ne.ip	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め します。
サーバー情報 アカウントの種類(A): POP3 受信メール サーバー(I): mb.al 送信メール サーバー (SMTP)(O): mb.al	POP3	アカウント設定のテスト(T)
	mb.alato.ne.jp mb.alato.ne.jp	 [2] (次へ) をクリックしたらアカウント設定を目動的にテストする (5)
メール サーバーへのログオン情報		
アカラントる(U): パスワード(P):	p0000000	
パスワ メールサーバーがセキュリティで保 ている場合には、チェックボックスを	ワードを保存する(R) 譲されたパスワード認証 (SPA) に対応 オンにしてください(Q)	5し

ユーザー情報

■名前

: 差出人として表示する名前を入力します。

※ここで入力した名前は、メールを送信した際に「送信者名」として相手に通知されます。

■電子メールアドレス : alato のメールアドレスを入力して下さい。

サーバ情報

- ■アカウントの種類 : POP3
- ■受信メールサーバー : mb. alato. ne. jp
- ■送信メールサーバー : mb. alato. ne. jp

メールサーバへのログオン情報

■アカウント名 : 会員登録通知書のメールアカウント

あらかじめメールアドレスが入っていた場合は削除し、会員登録通知書のメールアカウント(小文字の cまたは p または g で始まる半角英数字の文字列)を入力します。

※ 複数のメールアドレスを取得されている場合、上で入力した電子メールメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。

■パスワード : 会員登録通知書のメールパスワード

※ 複数のメールアドレスを取得されている場合、上で入力した電子メールメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。

※ メールアカウント・メールパスワードは、大文字、小文字を区別します。間違いの無いように入力してください。

インターネット電子メール設定
全般 送信サーバー 詳細設定
メール アカウント
このアカウントを表す名前を入力してください ("仕事"、"Microsoft Mail サーバー" な ど)(N)
dentaro@alato.ne.jp
その他のユーザー情報
組織(O):
返信電子メール(R):

「インターネット電子メール設定」画面が表示されます。
 [全般]タブが表示されるので、メールアドレスを確認します。その他ユーザー情報の項目は必要に応じて入力します。

インターネット電子メール設定
全般 送信サーバー 詳細設定
 図 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O) ④ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)
 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)
アカウント名(N):
/セスワート(P):
□ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)
◎ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

インターネット電子メール設定	
全般 送信サーバー 詳細設定	
サーバーのポート番号	
受信サーバー (POP3)(<u>I</u>): 110 標準設定(<u>D</u>)	
□ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)	
送信サーバー (SMTP)(<u>0</u>): 587	
使用する暗号化接続の種類(<u>C</u>): なし	
サーバーのタイムアウト(I)	
短い ~」 長い 1分	
■ 「 / / / / / / / ・ ・ ・ ・ ・ ・	
OK キャンセル	

- 8. [送信サーバー]タブをクリックし、各項目を設定しま す。
 - ■送信サーバー (SMTP) は認証が必要 チェックを入れます。
 - ■受信メール サーバーと同じ設定を使用する チェックを入れます。
- [詳細設定]タブをクリックし、各項目を設定して
 [OK]ボタンをクリックします。

 ■受信サーバー (POP3): 110 (規定値)
 ■このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要: チェックしません。
 ■送信メール (SMTP): 587
 (規定値 25 を消して入れなおしてください)

- ■使用する暗号化接続の種類:なし
- ■サーバーのタイムアウト:任意で設定します。

■サーバーにメッセージのコピーを置く:任意で設定します。

◎チェックを入れると、受信するメールをサーバーに残すことができます。

※他のメールソフトでもメールを受信している場合や Web メールとメールソフトを併用する場合はチェックをつけ ます。(チェックをつけない場合、受信が完了したメールは、サーバーから消えてしまうため、他のメールソフトで の受信や Web メールでの閲覧できなくなります。)

■サーバーから削除する

サーバーにメッセージのコピーを置く日数を設定します。この設定は任意で行います。

■「削除済みアイテム」から削除されたら、サーバーから削除

Windows Live メールで削除したメールをサーバーから削除するかチェックします。 この設定は任意で行います。

ユーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y):	電算 太郎	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
電子メール アドレス(E):	dentaro@alato.ne.jp	089+
サーバー情報		アカウント設定のテスト(T)
アカウントの種類(A): 受信メール サーバー(I): 送信メール サーバー (SMTP)(O):	POP3	-
	mb.alato.ne.jp	 「「「「「「へ」をクリックした5アカワント設定を目的的にアストする (5)
	mb.alato.ne.jp	
メール サーバーへのログオン情報		
アカウント名(U):	p0000000	
パスワード(P):	*******	
✓ パス	ワードを保存する(R)	
III of a state of all state and an of the	Internet utara - FIRIT (cos) ut	eteti .

10. 「POP と IMAP のアカウント設定」の画面に戻ったら [次へ]をクリックします。



11. [次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストするにチェックが入っている場合、「テスト アカウント設定」画面が表示されます。テストが完了したら[閉じる]をクリックします。

ウントの変更	×
すべて完了しました	
アカウントのセットアップに必要な消報がすべて入力されました。	
	< 戻る(8) 先了

 「すべて完了しました」と表示されたら[完了]をクリ ックします。以上で Outlook2013 のメールの設定は完了 です。